

一般社団法人 日本創傷外科学会

## 専門医試験

～筆記試験過去問題集～

第8回専門医試験

問題 1) 眼窩を構成しない骨はどれか。

1. 篩骨
2. 涙骨
3. 側頭骨
4. 蝶形骨
5. 口蓋骨

問題 2) 次のうち誤りはどれか。

1. ミュラー筋は平滑筋である。
2. 鼻涙管は下鼻道に開口する。
3. 上眼瞼挙筋は動眼神経により支配される。
4. 眼輪筋は涙液のポンプ機構に寄与している。
5. 乳児の眼瞼外傷後は、眼部全体を被覆する。

問題 3) 下記の組み合わせで不適切なのはどれか。

1. 鼻篩骨骨折 — 流涙
2. 上顎骨折 — 咬合異常
3. 前頭骨前壁骨折 — 髄液鼻漏
4. 下顎骨関節突起骨折 — 開口障害
5. 小児の鼻骨骨折 — リモデリングによる形態改善

問題 4) 神経修復について、誤っているのはどれか。

1. 神経縫合部の過剰な緊張を避ける
2. 神経断端の funicular pattern をあわせる
3. 神経断端の同定が難しければ創の延長切開を行う
4. 神経断端がみえるまで癒痕組織を鋭的に切除する
5. 神経上膜縫合より、神経周膜縫合が一般的である

問題 5) 手の外傷に対する再建の材料として血管吻合が必須の移植材料はどれか。

1. 鼠径皮弁
2. 前腕皮弁
3. 後骨間皮弁
4. 外側上腕皮弁
5. 含皮下血管網全層植皮

問題6) Gustilo の開放骨折分類について誤っているのはどれか。

1. 全身状態と傷の大きさ、汚染の程度等で分類される
2. Type I は開放創が1cm 以下で清浄な開放骨折である
3. Type III は開放創が10cm 以上で高度の汚染を伴う
4. Type III-B は、広範な軟部組織の欠損を伴う
5. Type III-C は、修復を要する動脈損傷を伴う

問題7) 手の熱傷について正しいのはどれか。

1. 開放療法が適している
2. 減張切開は長軸方向に行う
3. III度熱傷は保存的に治療する
4. 手背熱傷では intrinsic minus position に固定する
5. 全周性浅達性II度熱傷は減張切開が必要である

問題8) Artz の基準において入院加療を必要とする定義で誤りはどれか。

1. 顔面の熱傷
2. 手・足の熱傷
3. 会陰部の熱傷
4. 気道熱傷
5. 骨折の合併

問題9) 電撃症において正しいのはどれか。

1. 腎不全は起こらない
2. 死亡原因として心房細動が多い
3. 高ナトリウム血症を合併しやすい
4. Compartment syndrome を生じやすい
5. 電気抵抗が最も大きいのは神経である

問題10) 下肢の末梢動脈疾患 (PAD) の治療として適当でないものはどれか。

1. NPWT
2. 血管内治療
3. バイパス手術
4. 弾性ストッキング
5. 外科的デブリードマン

問題 11) 糖尿病性足病変の症状として誤りはどれか。

1. 知覚鈍麻
2. 易感染性
3. 足趾壊死
4. 静脈うっ滞
5. シャルコー足

問題 12) 褥瘡の評価基準として用いられている DESIGN-R に含まれないものはどれか。

1. 細菌数
2. 褥瘡の深さ
3. 滲出液の量
4. ポケットの大きさ
5. 壊死組織の有無と性状

問題 13) 肥厚性癬痕の治療について正しいものはどれか。

1. 局所の運動が成熟を促す
2. 外科的治療はできるだけ早期に行う
3. 切除手術には放射線治療を併用する
4. ステロイド薬の局注では全身性の影響はない
5. ステロイド含有テープは正常皮膚の方が感受性が高い

問題 14) ケロイドの好発部位について誤りはどれか。

1. 肩
2. 耳介
3. 手掌
4. 前胸部
5. 恥骨部

問題 15) 線維芽細胞を増殖させる作用を持たないものはどれか。

1. 血小板
2. 赤血球
3. 顆粒球
4. 肥満細胞
5. マクロファージ